令和８年度 生産性向上支援訓練利用者の声

作成日：令和８年２月２７日
施設名：愛媛職業能力開発促進センター

１　基本情報

事業主名	株式会社愛新鉄工所
事業所所在地	愛媛県新居浜市清水町 12 番 50 号
事業内容	はん用機械器具製造業
従業員数	33 名
コース番号	24-38-10-058-094・24-38-10-041-095 他３コース
訓練実施時期	令和６年度～

２　事業主の声（会社概要、訓練を利用した経緯・動機、訓練を利用した感想、訓練の内容はどのように職場で活用されているか、今後の抱負等）

＊業務が長年の慣習に縛られ、生産性を度外視したやり方がそのまま固定化してしまっていた中、ポリテクセンターからの案内を受けて訓練の利用を決めた。

＊令和６年度から受講を開始し、これまでに５つのオーダー訓練を受講している。
訓練は幅広い分野・内容を網羅しており、オーダー訓練では、自社の状況に合わせカリキュラムを柔軟に組める点が大きな魅力である。受講をしたことにより既存のやり方を疑い、より良い方法を考える柔軟な思考が育ってきていると感じる。また、中堅層を中心に受講させたことで業務改善に向けた視点が共有され、組織全体に広がってきていると感じている。
今後も定期的に訓練を活用し、多角的な視野とマインドを定着させることで、生産性向上につなげていきたい。



事業所の外観

3　受講者の声（訓練を受講した感想、訓練で習得したことをどのように業務に活用しているか、今後どのように活用していきたいか等）

＊訓練を受けたことで、仕事の見え方がだいぶ変わったと感じている。同じ品物を加工するにしても、「もっと良いやり方があるのではないか」「こうすれば精度が上がるのではないか」と考えるようになった。

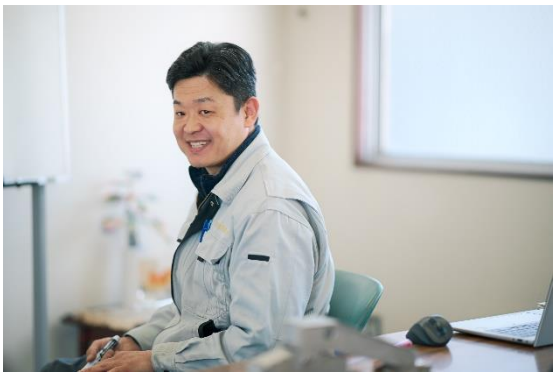
＊作業環境についても、訓練で学んだことがきっかけで“気づき”が増え、安全面に対して以前より敏感になったと思う。そのおかげで、日々の小さな改善にも自然と目が向くようになった。

＊材料の原価や営業の仕組みといった経営面の話を学んだことで、仕事を進めるうえでの判断材料が増えた。単に作業をこなすだけでなく、会社全体の流れの中で自分の仕事がどう関わっているのかを意識できるようになった。

＊これからも、今の業務に関わる内容はもちろん、会社の仕組みをより深く理解できるような訓練にも積極的に参加していきたい。



社員の皆さん



片座 代表取締役

4　具体的な成果（売上の拡大、残業時間の削減、ツール導入、部署の新設等、訓練利用によって得られた成果や影響を具体的に）

＊訓練の受講をきっかけに、現場での気づきが増え、日常的な改善が継続的に生まれるようになった。具体的には、訓練を受講するまでは正式な改善記録は0件だったが、記録の仕組みを整えたうえで訓練を受講した中堅層を中心に改善活動が活発化し、令和7年度には33件の改善が採用されている。

内容としては、工場内の整理整頓、表示の改善など、日常業務に関わるものが多く、これらの積み重ねにより、安全性の向上や作業効率の改善につながっている。

こうした改善が継続的に生まれる体制が整ったことは、訓練受講の大きな成果である。